

# 医事課

課長 浅野 友和

2015年を迎えるにあたり、医事課での業務を振り返りたいと思います。昨年は、4月に神奈川県災害協力病院の認定を受けました。これは2013年4月にオープンした救命救急センターでの実績が認められたとも言えます。また同月に県から45床の増床許可がおりて、11月には15階病棟（43床）を開棟する運びとなり、病床数は619床となりました。今年も医事課は限られた人員数にて、増え続ける患者さんに対応しつつも、お産センター構想、重装備のがんセンター構想を視野に入れ、病院経営に貢献しなければなりません。

## 1. TAVI認可施設

TAVI（重症大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁置換術）は開胸手術の困難な高齢者等に対する術式で、2014年4月、当院は全国で13の大学病院を含め16施設の中の1病院としてTAVIを行う事が出来る保険診療施設として選ばれました。医事課は、院内院外への周知や、診療報酬が滞りなく算定できるよう、各種必要な施設基準の届出準備を行いました。

## 2. 院外処方せん発行

11月から、国が推進する医薬分業の方針に従い、一部の薬を除いて院外処方せんへの切り替えが行われました。医事課では、患者さんが迷ってしまわないよう、外来窓口での会計と処方せん発行をスムーズに行うために、薬剤部と連日協議して運用変更を行いました。

## 3. 15階病棟開棟

4月の45床増床許可を受け、11月から15階病棟を開棟することとなりました。無事に開棟できるよう、医事課では、病棟の運用のため看護部等と協

議を重ねました。また必要な施設基準の届出を行いました。

最後に2015年、医事課では5月にオープンするお産センターの立ち上げを成功させること。また、隣接する特養愛の郷、なかよし保育園を移転させて確保した場所に、病院と連結する外傷センターを建設する構想が控えております。その課題を達成するために、業績管理を今まで以上に厳しく行うとともに、医事課職員の質を向上させ、心のこもった接遇を行い、患者さんの期待に応えられるような病院づくりを医事課全職員で行っていきます。